

金メダル

2024.10.7

9月28日(土)は、運動会の日だった。小学校の体育館をお借りして行われた。考えてみた。自分は、幼稚園の運動会に行ったことがあるのか。息子と娘は、同じ幼稚園でお世話になった。確か運動会は、あづま総合運動公園のグラウンドだった。行ったことがあるのは確かだった。だが、ずっといたという記憶がない。幼稚園の運動会というと、ローマにいたときに、親子競技があり、大きなキャタピラに息子と入り、一所懸命前に進んだ覚えがあるくらいだった。

そういうわけで、幼稚園の運動会というものをわかっているわけではない。事前の練習から会場設営に準備まで、すっかり先生方のお世話になった。皆さん、経験が豊富で、テキパキと段取りよく進めていく。こういった場合は、邪魔にならない、足を引っ張らないに限る。かといって何もやらないわけにもいかない。先生方の動きを見ながら、できそうなことを探す。できれば、重い物を運ぼうと考える。

最初の練習では、やっぱり幼稚園児だと思っていた。ところが、練習を重ねるたびに、どんどん上手になっていく。進歩していく。毎回、写真を撮っているため、よくわかることがある。リレーのときに走るフォームが様になっていく。かっこよくなっていく。力強く躍動感がある。走るだけではない。ダンスも、いつの間にかマスターしている。驚くばかりである。毎日見ている私でさえ、これほどの驚きがあるのだから、保護者やご家族の方は、もっと驚いたのではなからうか。

この運動会は、園児全員が主役だった。そして、保護者の皆さんの活躍も見事だった。保護者競技を一からつくり上げていった。競技内容を考え、ルールを決め、保護者参観の際に練習をした。それを受け、また、内容とルールを考える。チームごとに作戦会議も開かれた。そして、当日は、親睦を超えて勝負をしていた。多少驚かされた。どうして、ここまでやっていただけなのか。たぶん、普段から幼稚園の運営に協力していただけていないと、こうはならないような気がする。有り難い限りである。

閉会式では、園児一人一人に、金メダルを授与した。一人一人の首にメダルをかけた。大きな立派な金メダルだった。園児は、みんな誇らしげだった。堂々とした顔つきだった。きっと、やり切ったという達成感があるのだろう。満足気である。園児たちは、ほとんど出ずっぱりである。この日のMVPは、園児たち全員である。

保護者の皆さんに、アンケートをお願いした。こんな記載があった。「メダルをもらったのがとっても嬉しかったようで、その後のお出かけ中もずっと付けていました。」目に浮かぶようである。どれだけ嬉しかったことか。どれほどの自信となったことか。やっぱり金メダルはすごい。

笹谷幼稚園の運動会は、こじんまりとした運動会かもしれない。しかし、そこには、すべての園児が活躍でき、保護者の協力と参加があり、地区の皆様のご協力もいただける立派な舞台がある。それは、子どもたちを大きく成長させることができる、かけがえのない舞台である。運動会は、これからも続けていかなければならない。それだけの価値がある。